ピアスの穴あけについての同意書

ピアスの穴あけをすることにより起こりえる、下記の合併症・後遺症につきましては、「医療過誤」とはなり得ませんのでご了承下さい。

- ピアスの穴を開けることにより細菌・ウイルスなどに感染し、腫れ・赤み・痛み・熱感などの炎症症状や化膿を起こすことがあります。
- 金属アレルギーをお持ちの方にも対応できるチタンや樹脂のピアスを使用していますが、必ずしもアレルギーが生じないわけではありません。
- ケロイド体質の方などは、ピアスの周囲の皮膚が赤く盛り上がることがあります。
- ピアスを留めているキャッチを強くしめすぎると、ピアス・あるいはキャッチが皮膚の中に埋まってしまうことがあります。
- 耳たぶの下の方や際にピアスの穴をあけると、耳たぶが裂けてしまうことがあります。
- ピアスの穴をあけたあと出血することがあります。
- ピアスをつけている間は、常に感染の可能性があるのでピアスホールは石鹸をつけて洗浄して下さい。
- ピアスホールの安定のために、１ヶ月ではなく、２ヶ月ファーストピアスを残すことをおすすめしております。不安定なピアスホールは、浸出液や血が出続けたり、細菌感染したり、ピアスホールが塞がったりすることがあります。
- ピアスとその周囲が湿っている場合は、まだピアスホールは完成していません。
- ピアスホールを開けることに失敗することがあり、その際の補償はいたしかねます。
- 感染や耳たぶが裂ける等のトラブルが発生した場合、治療には別途料金が発生しますのでご了承ください。
- 18歳未満の方は保護者の署名と同伴が必要です。
- 高校など在学中の18歳の方は、保護者同伴は不要ですが、同意書に保護者署名が必要です。
- 保護者署名欄に署名があった場合は、保護者が同意したと判断します。虚偽の署名などに伴うトラブルに当院は一切の責任を負わないものとします。

ピアスの穴あけを行った場合の合併症の危険性について、十分に内容を理解しました。
その上で、自己の責任において施術を受けることに同意いたします。

同意日　　年　　月　　日

フリガナ
患者氏名

保護者氏名（患者本人が18歳未満または満18歳でも高校などに在学中の場合は必須）

住所

成増駅前
かわい皮膚科
Narimasu Kawai Dermatology Clinic